



# 関中学校だより

第5号 平成25年9月10日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-ky.ed.jp/>

## 実りの秋

校長 勝亦章行

暦の上では季節は、秋です。しかし、まだまだ残暑が厳しい日が続いています。ただ、朝夕は確実に涼しくなっており、虫の音は秋の訪れを私たちに感じさせます。ふと気がつく、日が暮れるのも早くなっています。季節は巡り、夏から秋と一日ごとに進んでいます。日本の最高気温を塗り替えたあの猛暑も、今となっては、一つの出来事になってきています。

さて、「実りの秋」という言葉があります。秋には穀物や果物などの農作物の収穫があることからの言葉だと思えます。農作物が育つためには、夏の暑い時期にしっかりと太陽の光を葉っぱいっぱい吸収し、水分や栄養分を根から力強く吸い上げ成長しなければなりません。植物は、考えながらそうした営みを行うのではなく、自然の摂理に従っているだけかもしれません。しかし、人間は、農業で得た農作物を秋に収穫し、自分たちのために使います。

さて、農作物だけでなく、人間も同じです。特に、44日間の夏休みは、生徒一人一人に同じ時間を与えました。この時間をどのように使うのかは、一人一人の判断でできたはずですが、学習、読書、部活動、趣味や特技、家族との団欒や旅行などさまざまな活動。夏休みは生徒、学生にとって一つの特権です。社会人になれば、何日間の夏休みはあっても長期の夏休みを取得することは難しくなります。先生方も、夏休みは授業はなくても、研修・研究・日直・部活動指導・臨海学校等があります。

ぜひ、夏休み中に体験や経験を通して学んだこと、得たこと、身に付けた力を、それぞれに発揮してほしいと思います。

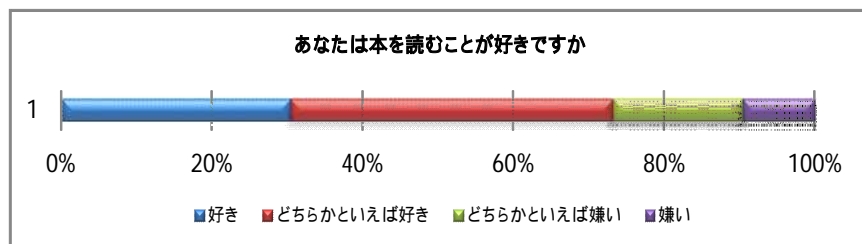
練馬区は、2学期制をとっています。そのため、10月4日が1学期終業式、10月7日が2学期始業式になります。しかし、12月の冬休みまでは、ほぼ連続の教育活動が展開されます。12月末までの大きな行事としては・・

10月	2日(水)	連合陸上競技会(国立陸上競技場)
10月	9日(水)	連合音楽会(練馬区立文化センター)
10月	19日(土)	英語学芸会(練馬区立生涯学習センター)
10月	30日(水)	合唱コンクール(練馬区立文化センター)
11月	2 or 3日	演劇発表会(練馬区立生涯学習センター)
11月	2日(木)	マラソン大会(所沢航空公園)
11月	30日(土)	中P連主催駅伝大会(光が丘公園)

さて、秋は、「実りの秋」だけでなく、「読書の秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」と様々な言葉があります。何をやるにしても良い季節です。学校生活においても充実した秋にして下さい。

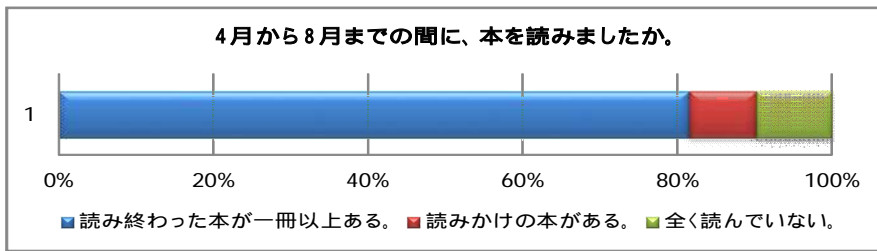
### 読書についてのアンケート調査結果

9月初旬、「読書についてのアンケート」を実施しました。その一部を紹介します。



### 9月・10月 行事予定

日	曜	予定
2	月	夏休み明け全校集会、防災訓練(下校訓練)、職員会議
3	火	選挙管理委員会合唱コン実行委員会
4	水	生徒会役員選挙公示 生徒会中央委員会
5	木	心の相談員来校
6	金	第1回新入生保護者説明会
8	日	医療救護所訓練
9	月	生徒会朝礼
10	火	SC来校
11	水	期末考査(英語・技術家庭)
12	木	期末考査(理科・社会)
13	金	期末考査(国語・数学・保健体育) 心の相談員来校
14	土	土曜授業 選挙活動始
16	月	敬老の日(祭日)
17	火	PTA本部会 選挙管理委員会 SC来校
18	水	職員会議
19	木	1年歯科講話 心の相談員来校
20	金	月曜日授業実施
23	月	秋分の日(祭日)
24	火	連合陸上大会 SC来校
26	木	生徒会役員選挙立 会演説会 PTA運営委員会 SC来校
27	金	生徒会役員選挙投 票・開票
30	月	全校朝礼 生徒会役員選挙選 挙結果公示
10月		
1	火	都民の日(休日)
4	金	1学期終業式、成 績相談日
7	月	2学期始業式、成 績相談日
30	水	合唱コンクール



全校生徒を対象に実施した調査ですが、「あなたは本を読むことが好きですか」という設問で、肯定的答えが73.2%でした。また、4月から8月までの間に、本を読みましたか」という設問で、90.2%が読んでいる

と答えています。

関中学校では、ハートタイム（朝読書）を年間を通して実施しています。朝の10分間の読書、「たかが10分間、されど10分間。年間を通せば30時間になります。」

読書は、学習の基礎基本です。朝読書のような活動が、このアンケート結果にも出ていると思います。また、この1ヶ月間で読み終わった冊数は、1学年3.3冊。2学年2冊。3学年2.6冊という結果でした。

## 2020年 夏季オリンピック・パラリンピック 「東京」開催決定！

9月9日の未明に、西暦2020年の夏季オリンピック・パラリンピックの開催都市が、東京と決まりました。1964年（昭和39年）東京大会に次ぐ二回目の大会です。2020年と言うと今から7年後になります。

今の中学生の年齢は、13、14、15歳です。夏季オリンピック・パラリンピック東京大会が開催するときは、ちょうど20、21、22歳と成人になっています。ある人は大学生か、一部の人は社会人になっているかもしれません。そして、日本代表として選手として参加している生徒もいるかもしれません。大会の運営やボランティアで頑張っている人もいるかもしれません。何せ、東京での開催です。そうした機会はあると思います。

将来に対して明るい夢や希望があることは、中学生などの若者にとっては、とても意義あるです。

2020年東京大会は、「安心・安全な大会」をコンセプトとしています。7年後の日本が今まで以上に安心で安全な国であってほしいと思います。そのためにも東日本大震災の復興がより強く進むことがとても大事なことだと思います。被害を被った東北地方各所に、様々なアスリートが訪問し、被災地の方々に勇気を与えたというニュースに接するとき、国を超えたスポーツの力を感じます。今の中学生が、日本の代表選手として活躍する姿を今から願っています。

## 「いじめ防止対策推進法」が6月21日に、成立しました。

国会で、6月21日、「いじめ防止対策推進法」が成立しました。

いじめ防止のための法律は、今までありませんでした。しかし、法的にいじめ防止について成立した意義はとても高いものと考えます。

(1) 法的に「いじめ」を禁止されました。

第4条（いじめの禁止）児童等（生徒含む）は、いじめを行ってはならない。

(2) 「いじめ」の定義

第2条（いじめの定義）当該児童等（生徒含む）と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象になった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

法律ができたから、いじめがなくなるとは思いません。いじめの根絶は、とても難しいことです。大事なことは、「他を思いやる気持ち」をもって友人とも接すること。さらに、「全ての者が、いじめは残念ながら起きる」という前提に立って取り組むこと。それが大事なことだと確信します。

## 平成25年度全国学力調査結果について

平成25年4月24日に実施された全国学力調査結果が、文部科学省より、発表されました。

対象 小学校6年生、中学校3年生

調査内容 国語、数学について「主に知識に関する問題（A）」と「主に活用に関する問題（B）」  
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

中学校の調査結果（平均正答率% 生徒の正答数の平均を百分率で示したもの）

	国語A	国語B	数学A	数学B	(%)
全国	76.4	67.4	63.7	41.5	
東京都	77.3	69.3	65.2	43.2	
練馬区	78.8	70.6	66.7	44.3	

## 1年下田臨海学校

1年下田臨海学校が、7月30日(火)～8月2日(金)三泊四日、101人が参加して行われました。天候にも恵まれ、伝統である遠泳も行き、充実した臨海学校になりました。



下田の外浦海岸にある練馬区臨海学校のよしず



水泳班ごとバディを組んで、いざ海へ



安全監視員(和船・ボート・カヤックから)に見守られながら泳ぎます。沖合にある筆島です。



開進第二中学校と一緒に臨海学校でした。



楽しかった花火大会(ベルデ下田前)



参加した100人が遠泳に参加し、完泳しました。家族で海水浴に行っても、なかなか遠泳まではできません。貴重な経験になったと思います。

## 関中学校 医療救護所 訓練



9月8日(日)に、関中学校で救護所訓練が行われました。災害が発生したとき、練馬区では、小中学校99校が避難拠点になります。その内、関中学校も含め10校が医療救護所になります。

今年度は、関中学校が医療救護所訓練会場となりました。訓練の内容は、トリアージ講習、そして訓練として、来校した傷病者の誘導・トリアージの実施・応急手当・重傷患者搬送・情報連絡訓練等でした。



四師会が参加(医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道接骨師会)



昇降口でのトリアージを行い、トリアージタグ(右下)に記入します。



重傷者は、保健室で医師が2次トリアージを行い、搬送判断をします。



軽傷者は、和室で応急手当を行います。



赤色 ( )	生命を救うため、直ちに処置を必要とするもの
黄色 ( )	多少治療の時間が遅れても、生命に危険がないもの
緑色 ( )	上記以外の軽易な傷病で、ほとんど専門医の治療を必要としないもの
黒色 (0)	既に死亡している者、又は直ちに処置を行っても救命が不可能なもの

トリアージ・タグと区分(0 ~ )

今回の医療救護所訓練には、関中学校避難拠点運営連絡会、関中学校PTA、四師会、後方医療機関(大泉生協病院、田中脳神経外科)、関中学校避難拠点要員(区、学校)、医療救護所要員、地域医療課、危機管理室が参加して行われました。総勢100人ほどが参加しました。

「災いは忘れた時に来る」という言葉がありますが、近年の状況を踏まえると自然災害(地震、暴風雨、突風等)や人災や大事故など起こっています。「災害は、いつ起こってもおかしくない」と言っても言い過ぎでないと思います。そこで、万が一に備えるための訓練は、とても大切で意義深いと思います。

学校は、本来、地域に住む子どもたちの教育のための施設です。しかし、災害発生時は、避難拠点としての役割があります。万が一の場合は、多いに活用していただければと思います。